

名古屋大学大学院国際開発研究科 教員公募

名古屋大学大学院国際開発研究科では、下記の要領により、育児休業に伴う代替要員として教員（助教）を公募します。

記

1. 職名 助教（実地研修担当）
 2. 採用人員 1名
 3. 担当職務 教授会、海外及び国内の実地研修委員会の監督の下に以下の業務を行うほか、自らの研究活動を行う。また、教授会、海外及び国内の実地研修委員会の判断により、名古屋大学の授業等を担当する。
 - 1) 海外及び国内の実地研修の実施に関する事務的諸準備
 - 2) 海外及び国内の実地研修及び講義のための資料収集（現地調査を含む）
 - 3) 海外及び国内の実地研修参加学生が作成する報告書の公開に際しての編集及び関連資料の翻訳の監修（英和及び和英）
 - 4) 海外及び国内の実地研修に関するウェブサイトの管理
 - 5) 海外及び国内の実地研修に関わる学生等からの問合せに対する応対
 - 6) 学生等の学術交流に関する業務
 - 7) その他、研究科長が指示する業務
 4. 勤務地 愛知県名古屋市千種区不老町での勤務（就業）
 5. 任期 国立大学法人東海国立大学機構職員の任期に関する規程を適用する。
https://education.joueikun.jp/thers_ac/act/print/print110011019.htm
（育児休業に伴う代替要員として雇用。任期は2023年4月1日から2024年1月31日まで。ただし、育児休業取得者が2024年1月31日より前に復帰した場合は、当該復帰の前日まで）
 6. 待遇 国立大学法人東海国立大学機構職員就業規則を適用する。
https://education.joueikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010794.htm
その他東海国立大学機構の諸規程に基づき決定する。（給与は、年俸制を適用する。）
 7. 応募資格
 - 1) 国際開発に関連のある専門領域の修士の学位を取得し、又はそれと同等以上の研究能力を有すること。ただし、博士の学位を取得しているか取得予定の者が望ましい。
 - 2) 海外実地研修先の諸機関と交渉し、英語文書を起案できる英語能力、及び国内実地研修先の地方自治体等と交渉し、日本語文書を起案できる日本語能力を有する者。
 - 3) 途上国において、のべ1か月以上の学術調査活動に携わった経験を持つことが望ましい。
 - 4) 英文による専門的論文を執筆した経験を持つことが望ましい。
※業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められる場合には、女性を積極的に採用する。
 - 5) 2022年12月1日から2023年3月31日まで常勤の「研究員」の身分で勤務可能であることが望ましい。
 8. 応募書類
 - 1) 履歴書（写真貼付）
 - 2) 自薦書（実地研修についての抱負を含む。2,000字以内の日本語で作成すること）
 - 3) 研究業績書
 - 4) 主要論文2編以上をpdfファイルで作成し、(1)～(4)の順に結合した単一のファイルを下記アドレスに提出してください。
※ 応募に際して提出された個人情報は東海国立大学機構個人情報保護規程に従って適切に処理し、人事選考以外の目的には使用しない。
 9. 応募期限 2022年10月21日（金曜日） 17時（必着）
 10. 選考方法 書類審査の後、10月下旬頃に対面またはオンラインで面接を行う（対面の場合、面接のための旅費は支給しない）。
また、面接時に選考委員を学生に見立てた英語による模擬授業を実施する。
 11. 採用予定日 2023年4月1日
 12. 応募書類送付先 応募書類は下記の電子メールアドレスに添付ファイルで送ること。
（送付先）人事選考委員会（jinjij02@gsid.nagoya-u.ac.jp）
（メールのタイトルは：「実地研修担当助教応募書類」とすること。）
 13. 問合せ先 名古屋大学大学院国際開発研究科 フランシス・ペディ准教授
E-mail: peddie@gsid.nagoya-u.ac.jp（電話での問合せには応じない。）
- ※名古屋大学大学院国際開発研究科（HP）：<https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/>（日本語）
<https://www4.gsid.nagoya-u.ac.jp/en/>（英語）